



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月29日
上場取引所 東

上場会社名 神戸電鉄株式会社
コード番号 9046 URL <https://www.shintetsu.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 信彦
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 部長 (氏名) 坂本 義之 TEL 078-576-8671
四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,379	△25.1	△256	—	△369	—	△370	—
2020年3月期第1四半期	5,848	△5.0	865	△5.7	726	△15.8	617	△25.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △347百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 591百万円 (△27.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△46.04	—
2020年3月期第1四半期	76.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	91,107	19,094	21.0
2020年3月期	92,800	19,441	20.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 19,094百万円 2020年3月期 19,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大が当社グループに与える影響を、現時点では合理的に算定することが困難であるため、未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	8,061,566株	2020年3月期	8,061,566株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	24,751株	2020年3月期	24,556株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	8,036,896株	2020年3月期1Q	8,038,477株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大が当社グループに与える影響を、現時点では合理的に算定することが困難であるため、未定としております。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 運輸成績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により社会経済活動が停滞するなど極めて厳しい状況で推移しました。

このような経済環境のなか、当社グループにおいては、各部門において新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図りながら増収やコストの削減に努めたものの、外出自粛要請に伴う鉄道・バス・タクシーの利用者の大幅な減少や、運輸業以外の事業においても営業時間の短縮や臨時休業を実施したこと等により、当第1四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

すなわち、営業収益は4,379百万円（前年同期比25.1%減）となり、営業損失は256百万円（前年同期は営業利益865百万円）、経常損失は369百万円（前年同期は経常利益726百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は370百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益617百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

運 輸 業

鉄道事業においては、「安全の絶対確保」を図るため、安全管理体制のさらなる整備・充実に取り組んだほか、「鉄道軌道安全輸送設備等整備事業」等の補助を活用しながら、軌道の強化等の工事を推し進め、運転保安度の一層の向上に努めました。

営業活動については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、企画ハイキングの開催休止や、一部企画乗車券の発売休止等を余儀なくされるとともに、外出自粛要請に伴い利用者は大幅に減少しました。

一方、列車の運行については、緊急事態宣言下においても「国民生活・国民経済の安定確保に不可欠」とされたことから、係員のマスク着用や、車内換気、車両・駅施設の消毒等、感染予防策を十分に実施したうえで通常運行を継続しました。

また、2020年6月1日の北神急行電鉄北神線の市営化に伴い、神戸市営地下鉄北神線の運行等の業務を受託しました。円滑な業務運営に努めるとともに、駅を中心としたまちづくりが推進されることにより人口定着や鉄道の利用促進が図られるよう沿線自治体と連携した取組を進めてまいります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の運輸業の営業収益は2,103百万円（前年同期比38.7%減）となり、営業損失は483百万円（前年同期は営業利益585百万円）となりました。

不 動 産 業

土地建物賃貸業においては、当社が保有する賃貸物件へのテナント誘致を進めるとともに、新たに月極駐車場を開設するなど、収益の拡大を図りました。

また、管理運営業務として、神戸市から「神戸市ものづくり工場（神戸市兵庫区）」他2施設を、神戸市道路公社から駐車場2施設を受託し、円滑な運営に努めております。

しかしながら、当第1四半期連結累計期間の不動産業の営業収益は480百万円（前年同期比12.4%減）となり、営業利益は250百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

流 通 業

食品スーパー業においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図りながら、「食のインフラ」として、地域のお客様への食料品の安定的な供給に努めました。

コンビニ業においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け鉄道旅客が減少する厳しい状況のなか、各店舗で増収に努めました。

飲食業においては、ケンタッキーフライドチキン武庫之荘駅前店（兵庫県尼崎市）・阪急茨木店（大阪府茨木市）の2店舗とも順調に推移しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の流通業の営業収益は1,526百万円（前年同期比1.9%増）となり、営業利益は12百万円（前年同期比1,100.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、流動資産が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ1,693百万円減少の91,107百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、買掛金が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ1,345百万円減少の72,013百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴い、利益剰余金が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ347百万円減少の19,094百万円となり、自己資本比率は21.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けており、2021年3月期の業績については、その影響が及ぶ期間や程度等によって、大きく変動するものと考えられます。

こうした状況のもと、2021年3月期の連結業績予想については、現時点では新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響を合理的に算定することが困難であることから、未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

なお、当第1四半期連結会計期間の新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた鉄道事業の2020年4月～6月の各月別の輸送人員の状況は以下のとおりであります。

(輸送人員の対前年同期比)

	4月	5月	6月
輸送人員	△ 35.5%	△ 40.9%	△ 20.7%
(うち定期外)	△ 56.0%	△ 63.7%	△ 35.0%
(うち定期)	△ 24.6%	△ 27.2%	△ 13.4%

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,177	1,108
受取手形及び売掛金	873	790
短期貸付金	70	62
販売土地及び建物	363	363
商品	117	111
貯蔵品	430	495
その他	2,126	932
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	5,157	3,862
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	43,137	42,763
機械装置及び運搬具(純額)	5,997	5,915
土地	34,695	34,691
建設仮勘定	455	523
その他(純額)	409	393
有形固定資産合計	84,696	84,287
無形固定資産		
その他	625	598
無形固定資産合計	625	598
投資その他の資産		
投資有価証券	957	953
長期貸付金	480	477
繰延税金資産	65	66
退職給付に係る資産	455	504
その他	379	374
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	2,320	2,359
固定資産合計	87,642	87,245
資産合計	92,800	91,107
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,241	1,079
短期借入金	25,884	25,717
未払法人税等	155	32
前受金	515	1,129
賞与引当金	49	89
ポイント引当金	11	11
その他	2,712	2,795
流動負債合計	32,570	30,856
固定負債		
長期借入金	34,741	35,125
再評価に係る繰延税金負債	3,471	3,471
退職給付に係る負債	108	109
長期末払金	571	565
長期預り保証金	932	928
その他	962	956
固定負債合計	40,788	41,157
負債合計	73,358	72,013

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,710	11,710
利益剰余金	6,314	5,944
自己株式	△79	△80
株主資本合計	17,945	17,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99	118
繰延ヘッジ損益	2	2
土地再評価差額金	1,500	1,500
退職給付に係る調整累計額	△105	△101
その他の包括利益累計額合計	1,496	1,519
純資産合計	19,441	19,094
負債純資産合計	92,800	91,107

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業収益	5,848	4,379
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	4,340	4,013
販売費及び一般管理費	643	623
営業費合計	4,983	4,636
営業利益又は営業損失(△)	865	△256
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	14	15
雇用調整助成金	—	70
雑収入	20	22
営業外収益合計	35	107
営業外費用		
支払利息	166	155
休業手当	—	58
雑支出	8	6
営業外費用合計	174	220
経常利益又は経常損失(△)	726	△369
特別利益		
工事負担金等受入額	—	8
特別利益合計	—	8
特別損失		
工事負担金等圧縮額	—	8
その他	5	—
特別損失合計	5	8
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	720	△369
法人税、住民税及び事業税	109	4
法人税等調整額	△6	△4
法人税等合計	102	0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	617	△370
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	617	△370

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	617	△370
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30	18
繰延ヘッジ損益	1	△0
退職給付に係る調整額	3	4
その他の包括利益合計	△26	22
四半期包括利益	591	△347
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	591	△347
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

- I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	3,424	486	1,495	5,407	441	5,848	—	5,848
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	6	61	2	70	195	265	(265)	—
計	3,431	548	1,497	5,477	636	6,114	(265)	5,848
セグメント利益	585	254	1	841	11	853	12	865

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額12百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	2,099	418	1,524	4,042	337	4,379	—	4,379
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	3	61	1	66	191	258	(258)	—
計	2,103	480	1,526	4,109	528	4,637	(258)	4,379
セグメント利益又は損失(△)	△483	250	12	△220	△32	△252	(3)	△256

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△3百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 運輸成績

		当第1四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	前第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	増減率
輸 送 人 員		千人	千人	%
	定期外	2,595	5,426	△52.2
	定期	7,768	9,918	△21.7
	計	10,364	15,344	△32.5
旅 客 收 入		百万円	百万円	%
	定期外	590	1,307	△54.8
	定期	857	1,167	△26.6
	計	1,447	2,474	△41.5

(注) 輸送人員は千人未満を、旅客収入は百万円未満をそれぞれ切り捨てて表示しております。